

2025年1月10日
アグリビジネス投資育成株式会社

青果サプライチェーンのコーディネートによる生産者の販路創出

～株式会社でいたらぼへの出資について～



アグリビジネス投資育成株式会社（取締役代表執行役社長：堀部恭二）は、このたび、『農業の“生産”、“流通”、“経営”それぞれの現場のパートナーとして、農産物の持続的な発展に寄与する』ことを理念に掲げ、ギフト向け果物などの青果流通を手掛ける株式会社でいたらぼ（代表取締役：宮川博臣、以下「でいたらぼ」）に対して出資しましたのでお知らせいたします。

近年、天候不順や消費者ニーズの多様化により、青果流通業界では安定供給の確保や物流構築の難易度が高まっています。こうした中、でいたらぼは、産地の生産者から出荷業者、消費者に至るまでの幅広いネットワークを活用し、農産物の安定的な調達、最適な物流の企画、そして消費者ニーズに即した商品開発に取り組んでいます。特にギフト向けの高級果物の取り扱いを強みに、産地の高品質の果物をブランディングして付加価値を高めるとともに、川上から川下までを包括的に理解し、ステークホルダーと連携しながらサプライチェーンを一気通貫でコーディネートするその手法は、青果流通における新たな可能性を創出しています。

アグリビジネス投資育成株式会社（以下「弊社」）は 2002 年に設立され、「国内農林漁業及び食品産業の持続的な発展」を目的として、農林漁業法人、国内外の「食のバリューチェーン」に関わる企業に対して、地域活性化や新しいビジネスの創出、新たなバリューチェーンの構築・改善等への取り組みを支援しております。

でいたらぼの取り組みは、地域の特色ある生産者の情報網や流通・梱包加工のネットワークなどの強みから、多様化する消費者ニーズへの対応が求められる百貨店・スーパーなどから支持されています。弊社では、大手でも取り扱いノウハウの維持が難しくなりつつあるギフト向けの高級果物の流通を支える専門プレイヤーという独自のポジションと、でいたらぼのビジネスモデルが生産者の新たな販路創出や農産物の高付加価値化、ひいては生産者の所得向上に資するものと評価し出資いたしました。本件出資後におきましても、株主である日本政策金融公庫、農林中央金庫をはじめとした系統組織等のネットワークを活用し、でいたらぼの事業をサポートすることを通じて、国内農林漁業及び食品産業の持続的な発展に貢献するよう取り組んでまいります。

引き続き、弊社は、環境・社会課題の解決に貢献し、SDGs の実現をはじめとするサステナブル経営を推進いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

アグリビジネス投資育成株式会社 総務部 中原 TEL : 03-5577-6377